

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
とちお「謙信」地区

平成25年6月

新潟県長岡市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	まちづくり活動参加者数	人	260	290	298	確定 見込み			あり なし	302	H24年4月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	秋葉公園や城山の整備により、地域住民の積極的な環境管理活動への参加が促された。
指標2	街なか来訪者数	人	44,600	49,000	56,387	確定 見込み			あり なし	59,532	H25年4月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	常安寺周辺参道、城山遊歩道、アークス道路の整備により地域住民と街なか来訪者との交流機会が増えた。
指標3	「城山」に対する関心度	%	60	70	61	確定 見込み			あり なし	61	H23年3月	当該指標は整備前後で直ちに变化するものではないので、事後評価値を確定値とした	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	直ちに目標値を達成する見込みはないが、地域住民の環境管理活動が活発になった。
指標4	「城山」に対する関わり度	%	3	5	13	確定 見込み			あり なし		H 年 月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	城山遊歩道の整備等により植栽活動や遊歩道の管理に取り組む地域住民が増加した。
指標5	「秋葉公園」に対する関心度	%	60	70	65	確定 見込み			あり なし	65	H23年3月	当該指標は整備前後で直ちに变化するものではないので、事後評価値を確定値とした	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	直ちに目標値を達成する見込みはないが、秋葉公園を管理するNPO組織への参加者が増加した。
指標6	「秋葉公園」に対する関わり度	%	7	10	16	確定 見込み			あり なし	16	H23年3月	当該指標は整備前後で直ちに变化するものではないので、事後評価値を確定値とした	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	秋葉公園を整備することにより、秋葉公園を管理するNPO組織への参加者が増加した。
指標7	「雁木」に対する関心度	%	60	70	70	確定 見込み			あり なし		H 年 月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	雁木の駅を整備することにより、地区全体の雁木に対する関心度が高まった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	ボランティアガイド利用者数	人	1,409	/	4,662	確定 見込み					H 年 月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	秋葉公園や雁木の駅整備より、来訪者が増加し、ボランティアガイドの利用者数が増加した。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み					H 年 月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み					H 年 月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	街なか来訪者と地域住民の交流機会への支援	・雁木通りを活用したまちあるきイベント「雁木あいぼ」の実施や、栃尾まつりの主会場を秋葉公園とするなど、街なかに来訪者を呼び込む工夫を行った。	・イベント参加者、来訪者ともに増加し、交流機会の拡大につながった	・今後も積極的に街なかに人を呼び込むため、イベントの実施や開催手法の見直しなど継続していく必要がある。
	持続的なまちづくり活動を促す地域住民への支援	・新潟大学との協働による雁木整備や花いっぱい活動など、地域景観の向上を目的とする町内会活動に対し、支援を行った。	・まちづくり活動が継続している	・活動の多様化を図るために、NPOや企業等との協働によるまちづくり活動を検討する必要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	謙信公ゆかりの地域資源の有効活用	・謙信公ゆかりの史跡への説明看板設置 ・城山遊歩道を活用したトレッキングイベントの実施	・史跡についての周知が進み、来訪者から好評を得た。	・来訪者への周知向上にとどまっているので、加えて住民の関心度を向上するためのPRが必要
	持続的なまちづくり活動を促進する地域住民の活動空間の創出	・地元住民や来訪者に雁木の駅を開放し、活動拠点として活用していただいた。	・住民同士あるいは住民と来訪者のコミュニティスペースとして活用された。	・更なるコミュニティを創出するため、雁木の駅の空き部屋を活用するための整備、修繕が必要

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
・地域の魅力発信パンフレットの作成	・まち交事業で整備した秋葉公園や城山、雁木の駅などのPRとその活用を促すガイドブックの作成	25年度	・単に住民目線でPRするのではなく、第3者によるオススメ目線でパンフレットを作成することにより、多くの共感を得たい

都市再生整備計画(清算報告)

とちお^{けんしん}「謙信」^{ちく}地区

^{にいがた}新潟県 ^{ながおか}長岡市

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	ナガカン 長岡市	地区名	とちお「謙信」地区	面積	164 ha
計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度				

目標
 大目標:多様なまちづくり主体の持続的な活動の実践と、栃尾の歴史・生活・文化、地域資源等を活かした拠点整備による誇りと活力あるまちづくり
 目標1:栃尾らしさの醸成に向けた多様なまちづくり主体による持続的な活動を促す仕組みづくり
 目標2:謙信公ゆかりの資源の活用等による求心性のある舞台づくり
 目標3:来訪者を呼び込むための仕掛けづくりと、交流空間の創出によるにぎわいづくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・旧栃尾市は上杉謙信公旗揚げの地として全国的に名を知られ、栃尾城跡をはじめとした謙信公ゆかりの遺構や遺品が数多く残されている。また、雪国特有の建築様式であり独自の地域景観を醸し出している「雁木」は栃尾の地域資源として、今でも街並みとの調和を保ちながら大切に保存されている。しかし、旧栃尾市は主産業であった繊維産業が衰退し、中心市街地では工場跡などの遊休施設が目立つようになった。また、併せて世帯の高齢化が進み、人口と施設の空洞化が顕著である。そのため、地域の資源を活かした市街地の環境整備および都市活力の向上に向けた取り組みが求められている。
 ・そのような中、雁木を活かしたまちおこしを行おうと、平成9年から新潟大学工学部、地元町内会(表町)、長岡市(当時は栃尾市)らの協働により、地域との調和を残しながらデザインされた看板や雁木を街並みのシンボルとして残そうと雁木づくりのプロジェクトが行われてきた。この活動は、地域住民と交流する中で発現されたアイデアをデザインとして作品に取り込み、学生が提案し、住民と学生とが手作りで製作、設置を行う活動であり、現在もその活動は継続している。
 ・この活動が評価され、平成13年度には国土交通省の「手づくり郷土賞」、平成14年度には総務省の「地域づくり総務大臣賞」を受賞することができた。また、平成17年度には大学側からの申し出により旧栃尾市と新潟大学工学部の間で相互交流協定が締結された。
 ・また、平成17年度には全国都市再生モデル調査を実施し、学識経験者や地域住民等により構成された委員会を通じて「謙信の里づくり」、「雁木空間形成」計画を策定すると共に、これらの計画と連携・調整を図る中で「栃尾市中心市街地活性化基本計画」を同時期に策定している。その後、平成18年7月には栃尾商工会において「長岡市栃尾地域TMO構想」が策定されている。
 ・上記活動を進める中において、上杉謙信ゆかりの地であり地域のシンボリック公園である「秋葉公園」を中心として、これまで蓄積してきたまちづくり手法を活かし、教育(幼稚園、保育園や小学校)や社会資本(公園、道路など)の環境向上に取り組むことを目的として、NPO法人「緑うおう栃尾を育む会」が設立されるなど地域住民等を主体としたまちづくり活動も展開されている。
 ・当該都市再生整備計画については、平成17年度に検討された「謙信の里づくり」、「雁木空間形成」計画の内容を基本としつつ、学識経験者やNPO代表等を含む地域住民により構成された「謙信の里づくり都市再生整備計画検討委員会」に諮る中で策定している。

課題

・昭和後期～平成初頭に整備された中心商店街が景気の低迷や後継者不足により廃業が相次ぎ、活気の低下や殺風景な街並み景観となっている。
 ・栃尾の誇りであり歴史的な資産である「上杉謙信公ゆかりの遺構や遺品」、「雁木」を最大限に活かし、地域の活性化や来訪者のまちなか誘導を図る必要がある。
 ・「住民参加」という概念から脱却し、様々な団体や個人、公的機関が計画から参画し、実行・管理までを主体的に行うという「協働」の概念によるまちづくりを目指すため、まずは情報交換、情報集積、情報発信などを一元的に行うことのできるまちづくり拠点の整備、および住民等を主体とした持続的な活動に向けた支援を行う必要がある。
 ・また、各種環境整備を行うにあたっては、新規の箱物を作るのではなく、既存ストックを最大限利用した形を目指すものとする。

将来ビジョン(中長期)

・第6次栃尾市総合計画においては、住民のまちづくり活動を支援し地域の特性や栃尾の風情を活かしたまちなみ形成の促進、秋葉公園および栃尾城址の整備、および住民と協力団体、行政の連携による雁木を活かしたまちづくりの推進を図るとされている。
 ・栃尾都市計画区域の整備、開発及び保全の方針において、谷内地区ではゆとりある市街地の形成、商業環境の改善、地域の歴史を活かした景観形成、交流人口の拡大などの観点から、にぎわいと快適さの持続する都市づくりが求められている。また、表町では雁木の街並みの保全・活用を進め、魅力のある景観を有する商業地の形成が求められている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
まちづくり活動参加者数	人	「謙信の里づくり」、「雁木空間形成」等に関連する地域住民等を主体としたまちづくり協働主体数	雁木づくり活動の拠点づくりや、謙信公ゆかりの地を舞台とした持続的なまちづくり活動を促す仕掛けづくり等によるまちづくり活動参加者数の増加	260人	H18	290人	H23
街なか来訪者数	人	本地区を舞台として開催される祭り・イベントへの参加者数、及び施設や拠点への来訪者数	アクセシブルの確保や伝統的な祭りの活性化、謙信物語の醸成による来訪者数の増加	44,600人	H17	49,000人	H23
「城山」に対する関心度	%	謙信公旗揚げの場である栃尾城跡が残る「城山」に対する地域住民の関心度(アンケート調査による)	謙信公ゆかりの地を舞台とした持続的なまちづくり活動などを通じた地域住民の関心(意識)の高まり	60%	H18	70%	H23
「城山」に対する関わり度	%	「城山」の維持・管理活動への関わり度(アンケート調査による)	謙信公ゆかりの地を舞台とした持続的なまちづくり活動を促す仕掛けづくり等を通じた地域住民の関わり方(活動の質)の向上	3%	H18	5%	H23
「秋葉公園」に対する関心度	%	上杉謙信ゆかりの地であり地域のシンボリック公園である「秋葉公園」に対する地域住民の関心度(アンケート調査による)	謙信公ゆかりの地を舞台とした持続的なまちづくり活動等を通じた地域住民の関心(意識)の高まり	60%	H18	70%	H23
「秋葉公園」に対する関わり度	%	「秋葉公園」の維持・管理活動への関わり度(アンケート調査による)	謙信公ゆかりの地を舞台とした持続的なまちづくり活動を促す仕掛けづくり等を通じた地域住民の関わり方(活動の質)の向上	7%	H18	10%	H23
「雁木」に対する関心度	%	栃尾の誇りであり歴史的な資産である「雁木」に対する地域住民の関心度(アンケート調査による)	雁木づくり活動の拠点づくり等を通じた地域住民の関心(意識)の高まり	60%	H18	70%	H23

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 : 多様なまちづくり主体の持続的な活動の維持・活性化</p> <p>・謙信の里づくりの醸成に向けて、謙信公ゆかりの地(栃尾城址や秋葉神社等)を舞台とした多様なまちづくり主体の自律した持続的なまちづくり活動を促す仕掛けづくりや活動への支援を行う。</p> <p>・地域と大学・高校、行政等の協働により持続的な雁木づくりが行われている表町において、空き家を活用して雁木の創作・研究・情報発信の場となる拠点を整備し、雁木づくり活動の更なる活性化を図る。</p>	<p>・デザイン雁木の整備(基幹事業/道路)</p> <p>・秋葉公園の整備[大野口広場含む](基幹事業/公園)</p> <p>・雁木の駅の整備(基幹事業/既存建築物活用事業)</p> <p>・事業効果分析(提案事業/事業活用調査)</p> <p>・持続的なまちづくりに向けた企画検討調査(提案事業/事業活用調査)</p>
<p>整備方針2 : 「謙信の里づくり」に向けた求心性のある舞台づくり</p> <p>・栃尾が誇る謙信公ゆかりの歴史文化資源である「栃尾城址」、「秋葉公園」、「常安寺周辺」等の魅力ある連携と、謙信公との歴史的な関わりの演出等を図り「謙信物語」を創出する。</p> <p>・より物語性のある謙信の里づくりを実現するため、謙信公ゆかりの資産をまちなかの空き家等を活用しつつ収蔵・保全していく。整備方針1で示したまちづくり主体が、活動のコアとして取り組む事により、まちなかと謙信公との関わりがより深いものとなる他、まちの回遊魅力が向上する。</p>	<p>・秋葉公園の整備[大野口広場含む](基幹事業/公園)</p> <p>・にぎわい広場の整備(基幹事業/地域生活基盤施設/広場)</p> <p>・常安寺周辺参道の整備(基幹事業/高質空間形成施設/緑化施設等)</p> <p>・城山の整備(提案事業/地域創造支援事業)</p>
<p>整備方針3 : 来訪者の誘導と交流・にぎわいの創出</p> <p>・「謙信物語」を創出する拠点となる箇所に、来訪者等を受け入れる駐車場を配置する。また、年間約40万人(平成17年)の来訪者数を誇る「道の駅R290とちお」から、まちなかや上記駐車場等へと来訪者を誘導するアクセス道路の整備を行う。</p> <p>・栃尾の誇りである各種資源を活かした参加型イベント等の開催を企画・運営し、地域住民同士および地域住民と来訪者の交流を深める。</p>	<p>・3.6.7金沢平堤防線街路事業(基幹事業/道路)</p>
<p>その他</p> <p>事業終了後の継続的なまちづくり活動</p> <p>・本地区内では大学、地元住民、行政等らの協働による「表町の雁木づくり」の活動が継続的になされてきている。今後は表町での取り組みを参考にしつつ、交付対象事業等によるまちづくり活動拠点の整備や持続的な活動に対する支援を通じて、既存のまちづくり主体や新たなまちづくり主体による継続的な活動を促し、まちの維持・管理活動や環境整備の実施など地域独自のまちづくりを継続的に展開する。</p> <p>交付期間中の計画の管理について</p> <p>・当該都市再生整備計画を策定するにあたり結成された「謙信の里づくり都市再生整備計画策定委員会」を母体とした組織を交付期間中も継続して運営する中で、各交付対象事業等の進捗状況や成果の発現状況等を把握し、その後の事業の進め方や計画の見直し、精査を行いつつ、より効果的なまちづくり施策の実現を目指す。</p>	

